

## 令和 4 年度 羽曳野市立図書館事業計画（案）

図書館活動の基本方針（①図書貸出し重視、②児童サービスの充実強化、③全域サービスの推進）のもとに、生涯学習室図書館課では、次の事業を実施します。今年度も、より一層の資料の充実とサービスの向上に努めます。

### 1. 新規事業など

#### (1) 電子図書館サービス

令和 4 年 10 月（予定）より、電子図書館サービスを開始する。

電子図書館サービス：web 上の図書館で電子書籍を借り、手持ちのパソコンやスマートフォン、タブレット端末で読むことができるサービス

- ・音の出る絵本など、電子書籍ならではのコンテンツを提供
- ・多くの書籍が音声読み上げに対応
- ・当初提供冊数（予定）

商用コンテンツ 200 冊

スターターパッケージ（2012 年に経産省支援事業として電子化された書籍）約 2000 冊

青空文庫（著作権の切れた作品等） 約 5000 冊

地域資料（市広報、パンフレットなど）

#### (2) 古市図書館の、児童・ヤングアダルト向けサービスを重点的に実施する図書館としての運営

- ・おはなし会以外にも、児童・ヤングアダルトを対象とした事業を数多く実施する（例：図書館活用術講座と子ども司書認定、子ども向けパスファインダーの作成など）
- ・古市図書館での実践をもとに、他の館へも児童・ヤングアダルト向けサービスを広げていく⇒子どもの読書活動推進へつなげる

#### (3) 読書手帳・図書館アプリなど

- ・図書館で借りた本のタイトルなどが印字されたシールを、図書館内 OPAC（図書検索用端末）に接続されたシールプリンターで印刷し、貼り付けることのできる読書手帳の提供開始
- ・図書館のウェブサイトの内容の充実
- ・利用者カードを持参しなくても、スマホなどにバーコードを表示させ、それを提示することで本を借りられるようになる
- ・スマホ用アプリが利用でき、予約などがより簡単にできるようになる

## 2. 市民等への図書の貸出サービス

- ・市内6館（中央・陵南の森・古市・羽曳が丘・丹比・東部）と、ブックステーションはびきのコロセアムでの貸出サービス
- ・リクエスト制度による市町村図書館間の相互貸借
- ・レファレンスサービス                      ウェブサイトで内容を紹介
- ・障害者サービスの実施（録音図書の貸出、対面朗読など）  
     ※4月以降 一般の人でも録音図書や点字図書の検索が可能に  
     録音図書を利用できる人の範囲を拡大
- ・高齢者サービスの実施（大活字本や高齢者向け紙芝居の貸出、拡大読書器の提供など）
- ・多文化サービスの実施（外国語の図書の収集、提供など）
- ・学校図書館支援センターとしてのサービス  
     学校図書館からのレファレンスおよび団体貸出  
     週2回配本便（学校⇄図書館）の図書貸出返却拠点
- ・広域貸出（近隣12市町村）サービス

## 3. 講座・研修会など

### (1) 講座など                      ※新型コロナウイルス感染症の影響で変更になる可能性あり

講座名	日時	講師	会場
おはなし会ボランティア入門講座	時期未定	おはなしボランティアグループ「はびきの」	中央図書館
本の修理入門講座	時期未定	図書館職員	中央図書館
朗読ボランティア入門講座	9月～12月 予定	朗読ボランティアグループ「はびきの」	陵南の森図書館

### (2) おはなし会

▲おはなしボランティアグループ「はびきの」

■おはなしの森

館名	開催日	開催時間	備考
陵南の森	毎月第1・第2日曜日ほか（検討中）	午前11時～	（月3回を予定）
	第3日曜日 ■	午前11時～	（小さい子向き）
		午前11時30分～	（少し長い話が聞ける子向き）
	第3土曜日 ▲	午後3時～	
羽曳が丘	毎月第2土曜日 ■、第4土曜日 ▲	午後3時～	
丹比	毎月第4土曜日 ボランティア	午前10時30分～	
東部	毎月第2水曜日 ▲	午前10時45分～	
古市	毎月第3土曜日 ■	午後3時～	
中央	毎週第1・3土曜日、第2・4日曜日▲	午後1時30分～	

- ・こども園でのおはなし会  
毎月1回、ボランティアと一緒に訪問（陵南の森）
- ・大人のおはなし会（6月頃予定 おはなしボランティアグループ「はびきの」）
- ・こわいおはなし会 夏季（中央・陵南の森）

**(3) 子ども読書週間・秋の読書月間行事（学校図書館との連携事業を含む）**

- ・春 手づくり遊び、おはなし大会、など
- ・夏 工作教室 夏休みおはなし大会
- ・秋 スタンプラリー、工作教室など

**(4) 本の展示**

各図書館で、毎月テーマを決めて展示  
(常設展示)

- ・百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産コーナー（中央・陵南の森）
- ・日本遺産認定 竹之内街道・横大路コーナー（中央）
- ・羽曳野市民大学コーナー（中央）
- ・ティーンズコーナー（中央・陵南の森・羽曳が丘）
- ・わかりやすい本のコーナー（陵南の森）

**(5) 子ども一日図書館員**

8月下旬

**(6) 中学生職業体験の受け入れ**

**(7) 大学生インターンシップの受け入れ**

**(8) ダルビッシュ有文庫の運営**

平成21年12月、中央図書館に設置した「ダルビッシュ有文庫」には、スポーツ関連の図書・雑誌750冊(R4.2.6現在)を配置。ダルビッシュ有子ども福祉基金からの助成により、毎年新刊図書を購入している。

**(9) 「森のゆうびん局」図書コーナーの運営**

市役所横の「森のゆうびん局」図書コーナーは、寄贈本や図書館のリサイクル本を置き、親子で絵本を楽しむコーナーとして運営。平成23年度より、おはなしボランティアグループ「はびきの」の協力により、「森のゆうびん局ちびっこサロン」を毎月第2水曜

日に実施していた。

令和3年度からは、「森のゆうびん局」にてマイナンバーカードの窓口として使用する  
ため、図書コーナーの利用を休止中。

**(10) ステーションライブラリーの運営**

朗読ボランティアグループ「はびきの」の協力により、市民から寄贈された図書を整理し、古市・高鷲駅のステーションライブラリーに設置。

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用休止中。

**(11) たけのこくんブックボックスの貸出**

幼稚園、保育園、留守家庭児童会、学級文庫、支援学校などに、50冊～100冊の児童書をセットにして1学期間程度貸し出している。

**(12) 四天王寺大学との連携事業**

平成29年4月に、中央・陵南の森両館で四天王寺大学図書館の資料の借り受け・館内閲覧を開始。平成30年1月からは、市内全図書館での館外貸出を実施している。同大学のボランティアサークルとの連携もふくめ、引き続き事業連携を進める。

**(13) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス**

平成30年11月に、国立国会図書館資料の送信を受ける図書館等としての承認を受けた。国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等資料のデジタル画像を図書館で受信できるサービス。図書館利用登録者は、中央図書館に設置したパソコンで資料を閲覧でき、複写することもできる（著作権法による制限あり）。

**(14) 雑誌スポンサー制度**

平成23年度に近隣市にさきがけて開始。

令和3年度は、9者13誌のスポンサーをいただいた。

図書館雑誌コーナーの充実と地域の事業活動の応援を目的として、引き続き拡充に努める。

**(15) 図書館協議会の開催**

館長の諮問機関。10名の委員で構成。

年2回程度開催予定。

**(16) 子ども読書活動推進委員会の開催**

「羽曳野市子ども読書活動推進計画」の進捗管理を実施。委員は10名。

年2回程度開催予定（事務局：図書館課）。

#### (17) サピエ図書館への参加

全国視覚障害者情報提供施設協会が運営するサピエ図書館に令和2年度より図書館として加入。

録音図書（デージー）や点字図書のデータがダウンロードでき、迅速な資料提供が可能となった。

#### 4. 図書館でのコロナ感染予防対策

- ・来館者のマスク着用、手指消毒の徹底
- ・座席の数を半分にし、密を避ける
- ・返却された資料の消毒
- ・館内の換気、定期的な消毒の実施

#### 5. 行事

(予定)

事業名	日時	講師・内容等	会場
読書講演会	6月19日（日）	川端 誠 氏	LIC はびきの
図書館のトリセツ講座	夏休み期間	図書館の仕事のあれこれ	中央図書館
夜のこわいおはなし会	7月中旬	閉館後の図書館でこわいおはなし会を行う	中央図書館
子ども司書認定	時期未定	司書の仕事体験	古市図書館
としょみくじ	時期未定	本を借りるとおみくじをひくことができる	各館
お楽しみ袋	時期未定	本の福袋	各館

#### 6. 運営について

令和4年10月より、図書館は週1日の休館日を設ける。

利用者の利便性のため、休館の曜日をずらし、全館が一斉に休館にはならないようにする。

- ・中央、丹比、東部、羽曳が丘の各館 毎週月曜日休館
- ・陵南の森図書館 毎週金曜日休館
- ・古市図書館 毎週月・火曜日休館（現行通り）
- ・ブックステーションはびきのコロセアム 火・木・土曜日運営（現金曜日⇒土曜日）

また、中央図書館の開館時間を、土日祝日は10時～18時とする（夜間休館）。